

北薩森林管理署交渉（全国林野関連労働組合北薩森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 平成28年12月8日（木） 17:20～18:15（55分）

2 場 所 北薩森林管理署 会議室

3 出席者

北薩森林管理署	前田 三文	署長
同	長 洵	次長
同	深田 孝治	総括事務管理官
全国林野関連労働組合北薩森林管理署分会		
同	小薄 政弘	執行委員長
同	中川 秀樹	副執行委員長
同	野田 誠治	書記長
同	川口 文明	執行委員
同	長口 棟博	執行委員

4 交渉事項

- (1) 主伐・再造林の増加に伴う職員の労働条件の改善について
- (2) 円滑な業務運営に係る事業実行体制の確保について
- (3) 労働安全衛生について

5 議事概要

- (1) 主伐・再造林の増加に伴う職員の労働条件の改善について
組合) 主伐・再造林が増加していくなかで、収穫調査の実行体制や苗木の確保、事業体の確保等、事業実行体制が大きな課題と考えている。
特に収穫調査については、外部委託や職員実行により実施しているが、外部委託業務では現場従事者の高齢化から今後調査を進めていくうえで十分とは言いがたく、職員実行で行うにも要員不足から負担が増している状況にある。職員の労働過重にならないようお願いする。
当局) 収穫調査の実施に当たっては、受託業者に対し調査業務従事者の確保要請や職員間の応援体制の整備と臨時職員の活用等の工夫を図り、職員の労働過重とならないよう努めて参りたい。
- (2) 円滑な業務運営に係る事業実行体制の確保について
組合) 年々、増え続けている収穫量や生産量等の事業量に対し、要員不足から職員負担が増しているなか未だ2つのポストが空席となっている。適切な事業実行体制が取れるよう、また、特定の職員が労働過重とならないよう、空きポストの解消と非常勤職員の雇用の確保を求める。
当局) 非常勤職員を含めた職員の確保については、当署実態を踏まえ機会あるごとに上局に要望して参りたい。

(3) 労働安全衛生について

組合) 今年9月、いずれも被害者側であったが、立て続けに2件の車両事故が発生し内1件は公務災害となった。

九州局全体を見ても車両事故が増加傾向にある。今後の事故防止に向け職員への当局の適切な指導を求める。

当局) 今回の事故も一歩間違えば重大災害に繋がりがねない事故であったと考えている。

今後においても、交通法令の遵守や交通事故防止の徹底が現場職員末端まで図れるよう適切に指導して行く考えである